

仕様書案説明書

下記のとおり調達物品の仕様書案の作成が完了したので、仕様書案に対する意見を招請します。

記

1. 調達内容

- (1) 購入物品及び数量 那珂フュージョン科学技術研究所で使用する電気の需給契約一式

2. 意見の提出方法

- (1) 意見の提出期限 令和7年11月5日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
(2) 提出先 〒263-8555 千葉県稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
財務部契約課 新関 輝之
電話 043-206-3015 FAX043-251-7979
E-mail:nyuusatsu_qst@qst.go.jp
(3) 提出部数 1部

3. 仕様書案の説明会

- (1) 日時 令和7年10月23日（木） 14:00
(2) 場所 下記2箇所をWEB会議でつなぎ実施する。
① 〒263-8555 千葉県稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 本部棟2階 役員会議室
② 〒311-0193 茨城県那珂市向山801番地1
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所
管理研究棟2階 第3会議室
なお、参加を希望する場合は、必ず添付の参加申込書を提出すること。

4. 入札公告予定時期 令和7年11月下旬

5. その他

- (1) 意見の提出、照会は、添付の様式にて提出すること。
(2) 提出のあった意見に対して、当方より質問する場合があるので意見提出の場合は、連絡窓口（住所、所属、氏名、電話番号、メールアドレス）を明記すること。

6. 添付書類

- (1) 仕様書案説明会参加申込書
(2) 意見提出用紙
(3) 仕様書（案）

以上

**「那珂フュージョン科学技術研究所で使用する電気の需給契約」
仕様書案説明会参加申込書**

連絡担当窓口	企業等名称	
	(ふりがな) 氏名	
	所属部署名	
	所在地	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	
参加者氏名等	参加場所	① 千葉 ② 那珂
	参加人数	(名)
	参加者氏名 ①	
	参加者氏名 ②	
	参加者氏名 ③	

※仕様書案説明会の参加者は、事前に参加登録された者のみとします。したがって、参加を希望する場合は、必ず本申込書を提出期限までに下記契約担当までご提出ください。

提出期限:令和7年10月22日(水) 12:00(必着)

提出方法:Eメール添付により提出すること。

(提出先)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

財務部契約課 新関 輝之

E-mail:nyuusatsu_qst@qst.go.jp

FAX:043-251-7979

TEL:043-206-3015

仕様書案に対する意見

件名	那珂フュージョン科学技術研究所で使用する電気の需給契約
----	-----------------------------

法人名：	
所属部署：	
氏名：	
電話番号：	
E-mail：	

No.	意見の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

那珂フュージョン科学技術研究所で使用する
電気の需給契約
仕様書(案)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

那珂フュージョン科学技術研究所

管 理 部 工 務 課

1. 概 要

(1) 需要場所

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
那珂フュージョン科学技術研究所
茨城県那珂市向山 801 番地 1

(2) 業 種

研究所

2. 仕 様

(1) 供給電気方式、供給電圧（標準電圧）、計量電圧（標準電圧）、標準周波数及び受電方式

供給電気方式	交流 3 相 3 線式
供給電圧（標準電圧）	250,000 ボルト
計量電圧（標準電圧）	250,000 ボルト
標準周波数	50 ヘルツ
受電方式	2 回線受電(本線予備線方式) (予備電線路により供給する場合は、常時利用変電所から常時利用と同位の電圧で供給すること。)

蓄熱式負荷設備の有無 無

(2) 契約電力及び予定使用電力量

契約電力	常時電力	23,500 kW
	予備電力	23,500 kW
予定使用電力量		69,547,000 kWh

(月別の予定使用電力量は、別紙のとおり。)

ア. 契約電力とは、

契約上使用できる電気の最大電力をいい、計量器により計測される値が原則としてこれを超えないものとする。

イ. 予備電力とは、

常時供給設備等の補修又は事故により生じた不足電力の補給に充てるため、常時供給変電所から予備電線路により常時供給電圧と同位の電圧で供給するものとする。

(3) 使用期間

自 令和 8 年 4 月 1 日 0 : 00 至 令和 9 年 3 月 31 日 24 : 00

(4) 電力量等の検針

本線及び予備線とも以下のとおりである。

自動検針装置	有り
電力会社の検針方法	自動検針
計量器構成	東芝 SE12-K18R
パルス定数	50,000/2,000

(5) 需給地点

需要場所構内引込口に国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構那珂フュ

ージョン科学技術研究所が施設した縮小形受電設備のブッシング端子と東京電力パワーグリッド株式会社の架空引込線との接続点。

(6) 電気工作物の財産分界点

需給地点に同じ。

(7) 保安上の責任分界点

需給地点に同じ。

3. その他

(1) 力率は、自動力率調整器を設置し、契約期間中 100 パーセントを保持する予定であり、この予定力率を前提として入札価格を設定すること。

(2) 量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所は研究所のため、一般事務庁舎のように需要形態が一定していない。装置の運転等により需要電力が変化するため、別添の負荷予測曲線はあくまで参考であり、将来の需要形態を表すものではない。また、契約期間中、臨界プラズマ試験装置を使用した実験運転を計画している。

(3) 電力供給における料金その他の計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおりとする。

ア. 契約電力及び最大需要電力の単位は、1 kW とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入する。

イ. 使用電力量の単位は、1 kW 時とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入する。

ウ. 料金その他の計算における合計金額の単位は、1 円とし、その端数は、小数点以下を切り捨てる。

エ. 消費税額及び地方消費税額の単位は、1 円とし、その端数は、小数点以下を切り捨てる。

4. 添付資料

(1) 別紙 令和 8 年度 月別予定使用電力量

(2) 別添ー 1 平日・休日 最大負荷予測曲線

(3) 別添ー 2 那珂フュージョン科学技術研究所 構内単線結線図

令和8年度 月別予定使用電力量													単位 [kWh]
	令和8年 4月	令和8年 5月	令和8年 6月	令和8年 7月	令和8年 8月	令和8年 9月	令和8年 10月	令和8年 11月	令和8年 12月	令和9年 1月	令和9年 2月	令和9年 3月	合計 4月～3月
A 朝時間	545,100	571,200	698,600	793,200	822,100	871,400	1,353,100	1,677,900	1,876,400	1,923,400	1,871,500	1,985,900	14,989,800
B 昼時間	362,100	379,400	464,000	526,900	546,100	578,800	898,800	1,114,500	1,246,400	1,277,600	1,243,100	1,319,100	9,956,800
C 晩時間	497,500	521,300	637,500	723,900	750,300	795,300	1,234,900	1,531,300	1,712,500	1,755,400	1,708,000	1,812,400	13,680,300
D 夜時間	1,124,300	1,178,100	1,440,900	1,636,000	1,695,500	1,797,500	2,791,200	3,461,300	3,870,700	3,967,600	3,860,400	4,096,600	30,920,100
月別合計	2,529,000	2,650,000	3,241,000	3,680,000	3,814,000	4,043,000	6,278,000	7,785,000	8,706,000	8,924,000	8,683,000	9,214,000	69,547,000

電力量合計 69,547,000 kWh

- A : 平日（土曜を含む）の 8:00～13:00までの時間
B : 平日（土曜を含む）の13:00～16:00までの時間
C : 平日（土曜を含む）の16:00～22:00までの時間
D : A（朝時間）・B（昼時間）・C（晩時間）以外の時間。
ただし、日曜・祝日および1/2、3、4/30、5/1、2、12/30、12/31は、全日「D（夜時間）」。

別添-1

kW

平日・休日最大負荷予測曲線



